



糸 雨

大野 英子
(福岡)

神様がくれたきうじつかもしれぬ失業、病に引きこもる日々

早起きは三文の徳といふけれど小説『業平』三巡目に入る

かろやかにポストへ投函される音聞こえるAM五時十二分

三万円を宝くじで当て安堵して気づくちつちやいなあ、わたしつて

行く場所がなくとりあへずここに来るハローワークの検索コーナー

コロナ禍の余波はつづくよどこまでも時間短きパートしかない

相談員ゐること会話できることストレス吐いてハローワークを出づ

あぢさゐは密を保つて末枯れゆきふたびめぐるコロナ禍の夏

川津波、山津波あり夏がくるたびに日本のどこかを襲ふ

心細き夜を迎へる人増えて日本はあんしんあんぜんですか

夕焼けのひかりを零すやうに降る糸雨、涼やかな風を伴ひ

ひと雨が過ぎてやうやくひらきたるくれなる深き松葉牡丹花

コロナ禍に身につきました朝な朝な港の散歩、ラジオ体操

爽竹桃を揺らす朝風吹きあるやラジオ体操してゐたふるさと

いつの日か詠まんと思ふはるかぜの和顔愛語のごとき一首を

このごろの私

昨年末の失業、そして大腸癌の手術、収まらないコロナ禍も加わり丑年そのままに牛歩の一年となつてしまつていきます。人と会えなくても、貧しくて、短歌がこころを支えてくれています。



「体温は正常です」

外館 克裕
(岩手)

このごろの私
六十歳の定年で学校を去るつもりでいる。今、学級担任をしている高校三年生を来年の三月に卒業させたら、校内に置いてある資料を少しずつ家へ運び込み、じっくり整理整頓をしたい。

「体温は正常です」と声の出る温度計より受くる判定

正常は体温だけか異常なるところだらけの我へそまがり

中止とも延期とも言はれざるままに五輪は強行されたりやはり

始まつてしまつたものはしやうがない……とは思はない東京五輪

反対の者は見るなどいふ方よ五輪は溢る見たくなくても

コンパクト五輪なる名もあつたげな経費は史上最高と大きく

弁当は余れる多く改修の五輪施設は使はれず 無駄!

安全で安心と胸を張るほどのコロナ対策いづこにかある

熱狂をするはテレビの人ばかり冷めて五輪を一瞥したり

「消費されるスポーツ」といふ教材を五輪の前に授業してある

強行をされし五輪の終はる時ゴタゴタばかり記憶に残る

不謹慎ネタ狩りの果て公の仕事を受くる人無くならむ

「いだてん」に描かれたりき政治家の道具とさるる五輪は哀し

先月の初めにワクチンクーポンは届けど予約するは叶はず

今月も予約受付されぬらし五十八歳以下未定とて